



ときの新しいはく物館を考え、活用するための

第6号

ときはく

ワーク
ショップ
ニュース

現在土岐市では、土岐の新しい博物館において、市民主体で活動する仲間づくりを進めていくため「新博物館市民ワークショップ」を行っています。これまでのワークショップでは、新博物館での過ごし方や、新博物館の建設地及び周辺エリアの魅力探索の他、新しい博物館でできる活動について考えると共に、将来的な市民による組織づくりをふまえて、市民による“ときはく”の効果的なPRについても検討を行いました。今回は、「新博物館のミュージアムグッズを考えよう！」と題して、博物館の資料である陶片を実際に見て、触れることでその魅力を知り、市民が独自のグッズを考えようという楽しい回でした。今回のワークショップ当日の様子を「ときはくワークショップニュース」としてまとめましたので是非ご覧ください。

◆当日のワークショップの様子

新博物館のミュージアムグッズを考えよう！



◆ワークショップの主旨、当日のプログラム、全体スケジュール

◆主旨

前回に引き続き、博物館活動の仲間の輪を広げるため、参加者自らがミュージアムグッズのアイデアや効果的なPRのブラッシュアップを考える。

◆日時：2024年12月15日(日) 13:00～16:00

◆場所：土岐市庁舎 1階多目的スペース ◆参加者：12名

◆当日(12/15)のプログラム

- 13:00 あいさつ・本日のスケジュール確認
- 13:10 前回ワークショップのふりかえり
- 13:15 ワークショップの目的について
- 13:20 グループワーク①
～新博物館のミュージアムグッズを考えよう～
- 14:50 グループワーク②
～PRボードの精度をさらに高めよう～
- 15:35 グループ発表
- 15:50 次回ご案内等（アンケートご記入後に解散）



◆令和6年度スケジュール

第1回 【R5/12/10】

「つながり・にぎわいエリア」の活用方法を考えよう！

第2回 【R6/2/12】

現地及び周辺を体感しよう！まちとつながってどう使う？

第3回 【R6/4/14】

新博物館のゾーニング確認+今後の市民活動、仲間づくりについて！

第4回 【R6/7/7】

新博物館で出来る具体的な市民活動プロジェクトについて考えよう！

第5回 【R6/9/29】

仲間の輪を広げるPRを考えよう！

第6回 【R6/12/15】

新博物館のミュージアムグッズを考えよう！

【今後の予定】

トキハクワークショップは次回で最終回とし、今後は積極的な情報共有やイベント・ワークショップへの市民ボランティア参加により、市民の博物館活動の醸成を図ります。

済

済

済

済

済

済



織部の陶片に触れて
肌ざわりや重さなど
を体感しました。



写真を見ながら
グッズのアイデア
を考えます



出た意見は全て
模造紙に書き写して
いきます。



学芸員の方々も
熱心にレクチャーして
いただいています。



発表もいつの間にか
お手の物ですね。



市民の皆さんもアイ
デアをまとめていくの
が手慣れてきました



ひとこと アンケート

●ミュージアムグッズについて) ミュージアムグッズを考えることで、現実みを感じてきた。/本物が見えて良かった/想像を超える様々なアイデアが出てきた/グループワークを進めるうちに皆さんの意見がまとまり、方向性が定まってきて楽しくワクワクしてきた。/陶片を実際に触れて、陶片の文様の面白さや手触り、重さを感じてとても興味を持った。ミュージアムグッズを考えることで、わくわく感がUP。

●トキハクについて) トキハクサポーターへの道、開館までまだ時間があるので、盛り上げていけたら良いです/多くの市民に関心をもってもらうよう、アイデアを出していこうと思いました/みなさんの熱意を感じました/博物館が早く建つといいなと思います/「織部の9種」を広めたい ●WSについて) 久しぶりの参加だったが楽しく WSに参加できて良かった/前回までの流れを丁寧にシェアしてもらえたのでスムーズに参加できた/楽しいひとときでした/陶片に触れることができ貴重な体験でテンションも上がった/他の市民も五感を働かせて体験するとよい/今回は自分の興味のあることだったので、自分からずっと意見を言うことができたのでよかった/色々な意見を一つのテーマで知ることはとてもためになります。などなど沢山のご意見ありがとうございました。

◆第6回土岐市博物館ワークショップの成果まとめ ～ A、B 2つのチームに分かれてミュージアムグッズやPRボードの精度を高めるアイデア出しを行いました！

ワーク① 新博物館のミュージアムグッズを考える

【Aチーム】

●グッズのアイデア① ～ 食べ物に関するもの

- ・お菓子の中に本物の陶片
- ・陶片クッキー、アイシング/土クッキー
- ・1個(枚)だけ本物の陶片が入っている
- ・割れた形のクッキー、素材で土を入れてみる
- ・土岐商サイダーとコラボする

●グッズのアイデア② ～ 皆が集めたいくなる

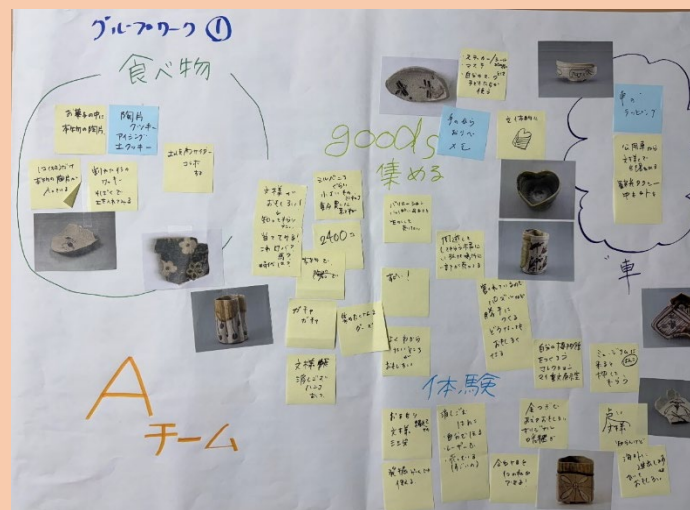
- ・ステッカー/シール/マスキングテープ
- ・自分のマーク→子どもたちが使う
- ・手のひらオリベメモ/ハート形立体的に
- ・文様がおもしろい→知ってもらいたい
- ・シルバニアファミリーのようなミニチュア系
- ・ガチャガチャ/文様消しゴム/はんこ
- ・よくわからないところがおもしろい
- ・沢山のバリエーションがあるもの
- ・周遊してもらうように、色々な場所に一部売っている

●グッズのアイデア③ ～ 体験、使えるもの

- ・お守り、縁起物、文様、占い文様
- ・発掘ゲーム、消しゴムハンコ、
- ・断片的なものを合わせると一つのものができる
- ・金つぎ、呼つぎなどをオリジナルで作る。割れているのでパズルなど勝手につくる。
- ・ミュージアムに来るとはんこ押してもらう。
- ・自分の博物館。マイコレクション、重文展示室

●グッズのアイデア④ ～ 車のデコレーション

- ・車のラッピング、観光タクシー、室内外。
- ・公用車自ら文様をつける。文様で部署がわかる



【Bチーム】

●グッズのアイデア① ～ いろいろ

- ・布、日本手ぬぐい、タオル、ハンカチ、パーカー、Tシャツ
- ・キャンディポット(クッキーなど)、フルーツバスケット、ビールジョッキ
- ・クリアファイル
- ・陶器でトランプ・ペンスタンド・帽子
- ・陶片イラストにタイトル付け
⇒謎の男、人生を語る、謎の男が馬に乗る
- ・おせんべい、お饅頭、干柿、土岐の「T」
- ・焼き物で文鎮づくり、水筒ふくろ、ペットボトルケース、みみずくキャラクター

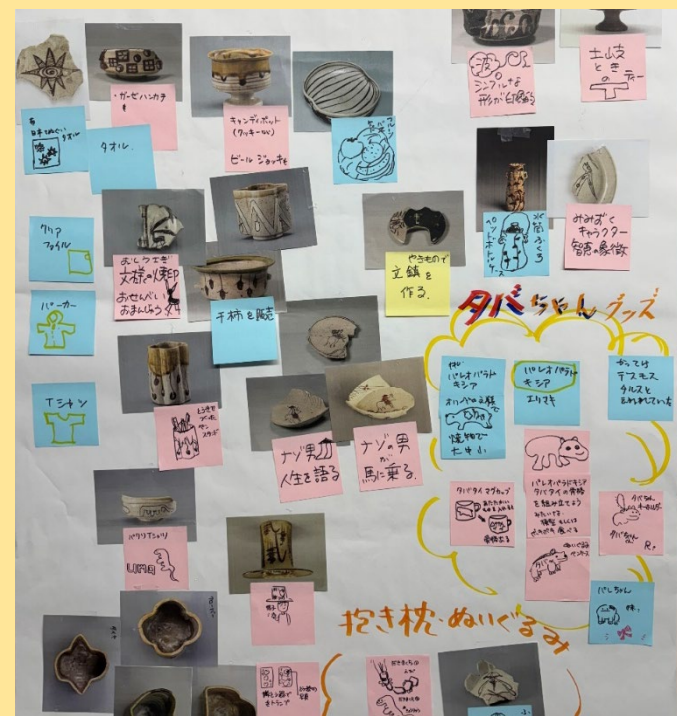
●グッズのアイデア

～ パレオパラドキシアのキャラクターグッズ

- ・パレオパラドキシア(デスモスチルス)
(織部の模様、焼物で大・中・小)
- ・タバタイマグカップ
- ・温かいものを入れると骨格が浮き出る
- ・パレオパラドキシア タバタイの骨格を組み立てる模型のようなもの。
- ・ぬいぐるみ、ペンケース
- ・タバちゃんキーホルダー(兄妹キャラクター)

●抱き枕、ぬいぐるみ

- ・抱き枕のエビや恐竜、ふわふわ人形



ワーク② PRボードの精度を高めるために必要なアイデア出し

【Aチーム】

●トキハクの仲間づくりのきっかけづくり

⇒ どんなきっかけがあるのか？

- ・土ソムリエになりたい
→どうしたらなる？
- ・子どもが楽しめるワークショップ
- ・土の染めもの
- ・体験が焼き物の世界の入口に！
- ・プレゼンまでに見本を用意する
- ・体験・参加したら☆が増える
- ・土だんご
- ・土を身近なものに！すぐに触れる遊べる
- ・参加したいと思わせるには？
⇒ また来たい！やりたい！と思えるように
- ・砂風呂、土風呂、会話

●きっかけから深堀していくテーマの設定。

①ミュージアムグッズづくり

②アートイベントの提案

⇒ 大人な空間、トキハク灯アート、灯器のタペ

③人燦々ときはく

⇒ 仲間の親交を深める ボランティアガイド講座

④土をきっかけとする体験

⇒ 大窯づくり体験



【Bチーム】

PRボードのブラッシュアップ！

●A-1 みんなで遊べるミュージアムショップ

- ・今日はみんなでアイデア出したい

●A-2 トキハク灯アート(デザインを織部で)

～灯器のタペ～

- ・年1回イベントだけでなく、普段も博物館で灯が楽しめる
- ・インスタ映えする名所になる

●A-3 ジロウさんと大窯を作ろう

- ・桃山時代の古窯を再現
- ・実際に火を入れるか→これが意味ある
- ・モニュメントとして展示するか
- ・織部の里には復元した窯がすでにある→駅前なのでみんなが目にする象徴に！

●B 人燦々ときはく(ちょっとわかりにくい)

- ・体験ツアーコースガイド育成プロジェクト
3つのテーマの柱 器・径道・古墳
ガイドツアー→講座参加(広がる)→学芸員さんと連携(どんどん深める)

●C 土ソムリエへの道

- ・スペシャリストは土岐の粘土屋さん
- ・スペシャリストよりも土を知る気軽な体験を
- ・土を知る体験WS
- ・粘土、土、砂の違いを知ろう
- ・粘土のでき方
- ・粘土に触って楽しむ(泥遊び)、触って知ろう
- ・焼き物の土は、土をブレンドして作っている

